

利用する人・運営する人

みなんで育てましょう！！

麻生市民交流館「やまゆり」

1月25日、市民組織の「社団 あさお市民活動サポートセンター」の設立総会が開催され、4月にオープンする麻生区市民活動支援施設『麻生市民交流館やまゆり』の運営にあたることになりました。オープンに向けて着々進んでいる準備の状況をお伝えします。

運営スタッフ説明会に52名が参加

市民に呼びかけた運営スタッフへの応募者を対象とした説明会が 2月9・10日の2日に分けて開かれました。9日33名、10日19名の合計52名もの参加があり、主催者は資料を追加するほどでした。そして運営スタッフが担う仕事の具体的な説明

に聞き入っていました（写真左）。説明の後、次から次へと質問が続き、参加への真剣な姿勢が感じられました。

ボランティア精神に富んだ参加者に抱負を伺いました（写真右：現地「やまゆり」で）。



ご夫妻で参加されたAさん：まもなく仕事をリタイアする私に一足先にリタイアしている夫と一緒にボランティアをしようと誘ってくれました。

40代のBさん：これまで仕事一筋で地域のことなど全く関心がなかったけれど仕事のスタイルを変えて時間に余裕ができたので、何かできることを...と思っていたところ市政だよりの区版が目にとまり、早速応募しました。（女性）

専業主婦のCさん：何かお手伝いしたいと思って応募しました。私にできるか心配ですが。

ボランティア暦の長いDさん：仕事だけではなく、地域で教育関係のボランティアをしてきました。両方とも一段落し、卒業したので、その経験とエネルギーを活かせればと応募しました。（女性）

シニア世代のEさん：リタイア後、やりがいのあるボランティアをしたいと思っていたときに、募集記事を読んで応募しました。（男性）



ボランティア募集にこれだけ多くの区民のみなさんが関心を持ち、行動に移そうとしていることは、心強いことです。



(現地「やまゆり」を下見する運営スタッフ説明会参加者)

利用登録団体を募集します

やまゆりの印刷機や会議室を利用希望の団体に向けての説明会が2月15日の午後1時30分から午後6時からの2回に分けて開かれました。(参加団体数39団体)

記入した申請書を持ってきた団体やその場で記入して申し込んだ団体も多く(写真)市民活動団体にとって支援ルームの活動を継承する市民活動への場の支援が欠かせない存在になっていることをあらためて確認させられる説明会になりました。

そこで、やまゆりに何を期待するか参加団体の声を伺いました。

- ・ Aさん：来年がグループ結成5周年なので、ぜひ全館を利用して記念コンサートを開催したいと思っています。詳しいことを聞いてメンバーに伝えるつもりです。
 - ・ Bさん：現在は福祉パルなどで活動を続けていますが、活動の場を広げる意味でも説明を聞いておきたいので参加しました。
 - ・ Cさん：やまゆりは、こじんまりとはしているが、ギャラリーや日常活動の場として使えることを期待しています。
 - ・ Dさん：活動に必要な資料類を大量印刷するので、荷捌き用の駐車スペースが使えるのならとても助かります。
- ・説明会では、明確な活動目的を持って活動している参加団体から使い方や予約の取り方などについて具体的な質問が続きました。



『麻生市民交流館やまゆり』 を利用するには

STEP1 まず、利用登録申請を

「利用登録申請書」に必要事項を記入して、3月30日(金)までに麻生区区民活動支援ルーム(4階)の受付箱に入れるか、地域振興課(3階)にFAXで申し込んでください。
月～金 9:00～17:00

STEP2 「団体登録証」を送ります(審査後)

審査を経た後、利用登録団体に「団体登録証」をお送りします。お手元に届き次第、ご利用になれます。

STEP3 利用予約を受付ます

予約受付

3月6日(火)～30日(金)の月～金の10時～12時 区役所3階地域振興課(8番窓口)直接提出してください。(FAX不可)
<全館予約>9月30日(日)までの全館予約(土・日)を受け付けます。
<一般予約>会議室は4月16日(月)から、印刷室は4月4日から3ヵ月後の平日の利用日までの受付をします。

開設記念コンサートにご招待

「麻生市民交流館やまゆり」の開設を記念して隣接する昭和音楽大学 ユリホールで記念コンサートを開催します。弦楽器と歌によるコンサート、そして「麻生市民交流館やまゆり」の施設の紹介をします。

このイベントに区民280名をご招待します。

日時：4月7日(土)13:00～16:00
(時間は予定)

会場：昭和音楽大学 ユリホール

参加方法：事前申込が必要です。

往復はがきに住所、観覧希望者全員の氏名、電話番号、観覧希望人数(2名まで)を記入し、麻生区役所地域振興課まちづくり担当(〒215-8570:住所不要)までお申込ください。(申込者多数の場合は抽選になります)

締め切り日：3月23日(金)消印有効

オープニングイベント

日時：4月5日(木)～4月13日(金)までの平日9:30～17:00(13日のみ16:00で終了)

麻生区で活動する36公募団体によるイベント

1階サロン：「イベントひろば」

2階会議室・フリースペース：「ギャラリー」

市民活動支援部会

市民活動支援部会は、2つの小委員会が中心になって活動しています。市民活動支援相談窓口小委員会と、講座企画運営小委員会ですが、両者とも4月の「やまゆり」オープンを心待ちにしています。どちらも「やまゆり」が今後の活動場所だからです。いま4月のオープンを前にして着々活動準備を進めています。

市民活動支援「相談窓口」小委員会

麻生で活動している膨大な数になる活動団体を把握するため、分野別に資料を分類、アンケート調査（予定）をし、整備を進めています。4月から始める「相談窓口」ですが、個別ニーズにあった紹介活動をどう展開できるか、たのしみです。

「講座企画運営」小委員会

「地域デビューへの招待状」の日程が5月12日（土）13:30～17:00に決まり、講師は社会空間研究所代表の錦織英二郎さんに担当していただくことになりました。現在、地域デビューする新しい人材を望んでいる活動団体にも参加を呼びかける準備を進めています。

まちづくり推進部会

地域まちづくり支援小委員会

現在、推進モデル地区選定のために、町内会、自治会単位の役員会との面談を進めております。引き続き、町内会、自治会のなかで住民の意見、要望（特に安全防災）が直接発せられて、目的のまちづくりが可能となる支援体制を整えるように進めております。

麻生まちづくり学校運営小委員会

今年度のまちづくり学校の講座を紹介します。防災をテーマとして5回の講座が平成18年12月16日（土）にスタートして講座受講者も当初予定していた30名近くになり、毎回熱心に受講していただいております。第1回の「防災から見た麻生区の現状」は、危機管理室の職員の方を講師に、麻生区を中心とした災害予想等、防災の市の取組を全般的に紹介していただき、第2回は平成19年1月20日（土）に「災害の前にはできること」をテーマに、主に木造住宅の耐震化について、建築指導課の職員の方の話がありました。第3回目以降のスケジュールは、第3回2月24日（土）「災害後にはできること」消防局の視察と説明。第4回3月

11日（日）「県総合防災センター」と「ひらつか防災まちづくりの会」の視察。第5回3月17日（土）「修了式と受講者に依る防災についての市民の取組をテーマにワークショップ」を予定しております。

落書き消し小委員会

景観を守り、明るく住みやすい安心、安全なまちづくりを目指して取り組んできた「あさお落書き消し隊」の活動も、昨年



12月17日の作業で4回目となりました。寒風を突いての作業でしたが、これで清々しい新年を迎えられると思うと力も入りました。しかし、数日の内に以前にも増して多くの落書きを書かれてしまいました。「落書き」はそれ自体犯罪です。そして、犯罪を誘発する原因ともなります。2月19日（月）10時から5回目の落書き消し作業を行います。市民と行政のみならず、麻生警察も本格的に取り締まりを行う方向です。いよいよ「いたちごっこ」も終焉を迎えるのでは？

地域通貨小委員会

この小委員会は若干遅れてスタートし、本格的に活動を始めたのは昨年12月です。当面は地域通貨の実態調査を行い、その結果に基づいて来年度以降に実行計画を立案の予定です。

1月29日、川崎区の池田ハルミさんに来ていただき、エコマネー「福ふくクラブ」のお話を聴きました。2月9日には、多摩区の「NPO法人ぐらすかわさき」を訪問。ここは昨年中断した多摩の地域通貨の再開を検討中です。川崎市では他にも地域通貨を始めたいと考えている区があるので、できるだけ連携しようということになりました。（今後の予定）2月22日午後3時から区役所会議室で、横浜市都筑区から講師を招き、地域通貨の

実施状況を勉強します。3月は大和市を訪問して実施状況を見学。3月末には田園調布学園大学を訪問して学内で子供たちを対象に行われる模擬店と模擬通貨を使った商売の勉強を見学する予定です。

（写真：明日を望む）



川崎フォーラム「かわさき元気メッセ」開催

3月3日(土)午前9時より川崎市教育文化会館で第5回市民自治かわさきフォーラムが開催されます。昨年は麻生区が担当しました。これは市民が主体となり市民間のネットワーク構築を目的として、地域における「まちづくり」のあり方を問うとともに、川崎市内で市民活動を行っている人達が集まる年1回のおまつりです。ぜひみてください。

麻生区区民会議レポート

「地域の課題は地域で解決する」ことを目的とした麻生区区民会議がスタートしたのは平成18年7月。

スタートにあたって、委員(20名)と一般区民から27の提案課題が寄せられました。区民会議の一組織である企画部会がこれらの課題を整理し、選定しました。それがテーマ「心が響きあう地域づくり」です。地域のつながりをつくり上げるためにどのような活動が効果的なのか? 区民のみんなが参加しやすい事例は?と検討を重ねた結果が「こどもの見守り」と「地元農産物と地域の交流」です。

こどもの安全を脅かす事件・事故が多発している今、学校関係をはじめ、町会・自治会、各種団体などがさまざまな取り組みを実践している事例や、自主グループによる活動事例が報告されました。学校と密接に連絡を取り合い交流を持つ、こどもたちと“あいさつ”を交し合う、こどもの見守りに限らず高齢者世帯への目配りや働きかけなど地域のつながりを感じさせる多くのヒントが報告されました。

これからも具体的な活動事例など区民からの情報提供の呼びかけや、区民会議として情報収集への努力を続け、広報の特集号を組んだり、地域メディアやマスメディアなどを最大限活用することで、地域のつながりという大きなテーマの実現化に取り組んでいくことが確認されています。

現在は「地元農産物と地域の交流」を取り上げ、専門部会を設置して麻生区の特色である都市農業を地域づくりにつなげるという魅力的な課題に取り組んでいます。

区役所ロビーの市政情報コーナーに提案箱が設置されています。区民の皆さんの提案や意見が寄せられるのを期待しているとのことです。もちろん傍聴もできます。

18年度第4回区民会議:

日時:3月22日(木)18時30分~20時30分

会場:新百合21多目的ホール

市民の会19年度会員募集

申込期間:4月27日(金)まで

説明会:4月21日(土)11時~12時

募集対象:「市民の会」の設立趣意および同会則に賛同する人。麻生区在住または在勤の人、麻生区に活動拠点を持つ市民団体やグループ、企業などに所属する人で積極的に活動できる人。

問合せ先

地域振興課 tel:965-5116

今後の予定(どなたでも傍聴できます)

まちづくり市民の会運営委員会:3月12(月)18時から

市民種別支援部会:3月7日(水)13時30分から

4月11日(水)13時30分から

まちづくり推進部会:3月5日(月)18時30分から

編集後記

新しい市民利用施設は「麻生市民交流館やまゆり」と名づけられ、いよいよ血が通いました。52名もの運営スタッフ希望者が参加した「説明会」に出て、「市民社会組織(CSO)」ということばが浮かびました。自発的・公共的な活動という市民の実態を示しているこのことばは、参加の輪を広げていく市民の特色をも表しています。

少数の人たちだけではなく、多くの市民がどんやまゆりに集い、交流し、協力していく・・・やまゆりを舞台にして、麻生の市民力がどのように展開されていくのか、期待を抱かせる集いでした(km)

CSO: Civil Society Organization